

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成20年12月18日(2008.12.18)

【公開番号】特開2007-322015(P2007-322015A)

【公開日】平成19年12月13日(2007.12.13)

【年通号数】公開・登録公報2007-048

【出願番号】特願2006-149878(P2006-149878)

【国際特許分類】

F 2 4 H 9/00 (2006.01)

【F I】

F 2 4 H 9/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月4日(2008.11.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

温水が貯留される貯湯タンクと、該貯湯タンクを囲繞する複数の断熱材と、前記貯湯タンクおよび前記断熱材を収納する外装ケースとを有する貯湯式給湯機であって、

前記外装ケースは、前記断熱材を前記貯湯タンクに押し付ける複数の凸部をその内側面に有することを特徴とする貯湯式給湯機。

【請求項2】

前記外装ケースは、該外装ケースでの左右の側面を形成するケーシング部材と、前後の側面を形成するケーシング部材と、上下面を形成するケーシング部材とを有し、前記左右の側面、前記前後の側面または前記上下面を形成するケーシング部材に前記凸部が設けられていることを特徴とする請求項1に記載の貯湯式給湯機。

【請求項3】

前記複数の凸部は、互いに並設された少なくとも2つの長尺状の凸部を含むことを特徴とする請求項1または2に記載の貯湯式給湯機。

【請求項4】

前記複数の凸部は、全体形状が環形の凸部を含むことを特徴とする請求項1～3のいずれか1つに記載の貯湯式給湯機。

【請求項5】

前記複数の凸部は、全体形状が環形で、水平方向に形成された凸部を含むことを特徴とする請求項1～3のいずれか1つに記載の貯湯式給湯機。